

東南アジアの自然と農業研究会

第 108 回研究例会のご案内

第 108 回定例研究会を開催いたします。今回は、京都大学大学院人間・環境学研究科の 増田 和也 氏に下記のように報告していただきます。年末のお忙しい時期かと思いますが、皆様の多数のご参加と活発な討論を期待してお待ちしております。

記

日 時： 2002 年 12 月 20 日（金）午後 4 時～午後 6 時

会 場： 東南アジア研究センター 東棟 2 階第 1 教室

京都市左京区吉田下阿達町 46

川端通り荒神橋東詰め

話題提供者： 増田 和也 氏

話 題： 「インドネシア・スマトラ東岸部における湿地林利用の展開」

要 旨：インドネシア・リアウ州のスマトラ東岸部は、広大な熱帯多雨林と湿地帯のために低人口をながらく保ってきたが、豊かな天然資源を求めて、外部資本による開発が 1970 年代より急激に進められてきた地域である。「プタランガン」とよばれる人々は、同州プララワン県内に古くから暮らし、焼畑稲作と採集狩猟、ゴム栽培を生業としてきた。しかし、森林開発の展開によって住民の利用できる森林は大幅に減少し、開発にともなう周辺人口の増加は漁撈の商業的重要度を高めてきた。こうしたなかで、大半の村人は河川沿いに残った湿地林に生業活動の場を移し、漁撈と森林産物採集をおこなっている。本発表では、水位変動に応じた湿地林の利用について技術的側面からみてゆくとともに、湿地林利用が展開されるなかで形成されてきた「なわばり」的側面についても指摘し、湿地林利用の特色について報告することを目的とする。

問い合わせ先： 富田晋介 京都大学農学研究科熱帯農業生態学研究室

Tel. 075-753-6352 <mailto:tomita@kais.kyoto-u.ac.jp>

柳澤雅之 京都大学東南アジア研究センター

Tel. 075-753-7345 <mailto:masa@cseas.kyoto-u.ac.jp>

ホームページ： <http://rtomita.kais.kyoto-u.ac.jp/~sizen/>